

うつのみや百人一首版ルールブック（小中学生）

<チラシ戦とは？>

うつのみや百人一首で言う「チラシ戦」とは、100枚の札を自分のチームと相手チームがそれぞれ3段に並べて、数人で取り合う戦い方のことです。（高校生部門と個人戦以外の部門です。）

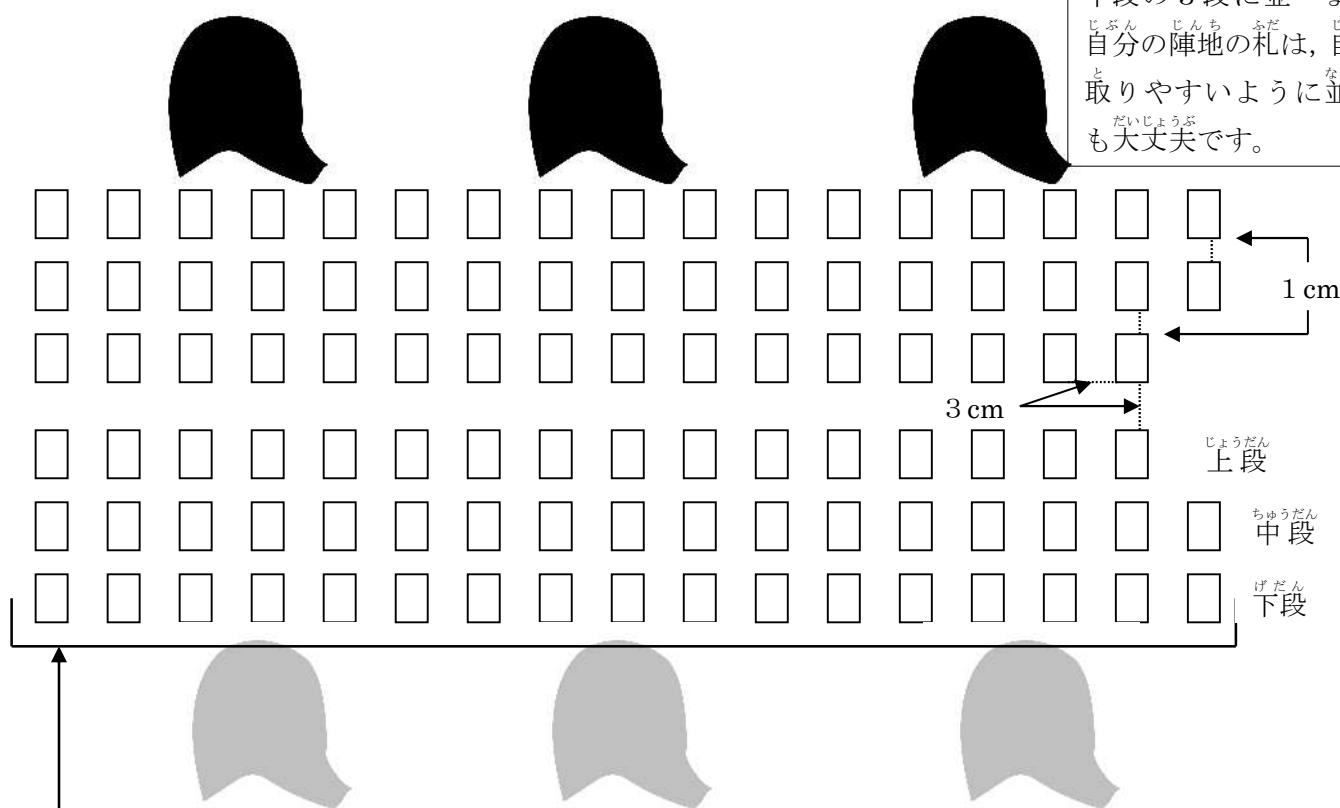
人数は各部門により違い、取り方も少し違ってきますが、基本的には100枚の札を自分のチームと相手チームに50枚ずつに分けます。

札の並べ方

- ① 50枚に分けた札をそれぞれのチームで3段に並べます。並べる順番は決まっています。
- ② 札と札の間は縦1cm、横3cmくらいあけます。
- ③ 自分のチームと相手のチームとの間は3cmあけます。

※ただし、競技開始後、一度札を並べたら、原則として札の移動はできません。

50枚を上段・中段・下段の3段に並べます。自分の陣地の札は、自分の取りやすいように並べても大丈夫です。



この幅は決まっていないが、16～18枚くらいを並べた長さがちょうどいいと思います。

ちなみに・・・

札を並べるときは、文字が自分の方に見えるように並べます。

相手も同じように並べるので、相手チームの札は自分たちには見えづらくなりますが、間違いではありません。

相手のチーム

こり
さ
さ
の
し

か
の
り
け
つ
た

の
ま
あ
さ
こ

自分のチーム

く
る
と
は
く
な

と
そ
お
も
ふ

ぬ
れ
つ
つ
ゆ
に

しょうがくせいぶもん
＜小学生部門ルール＞

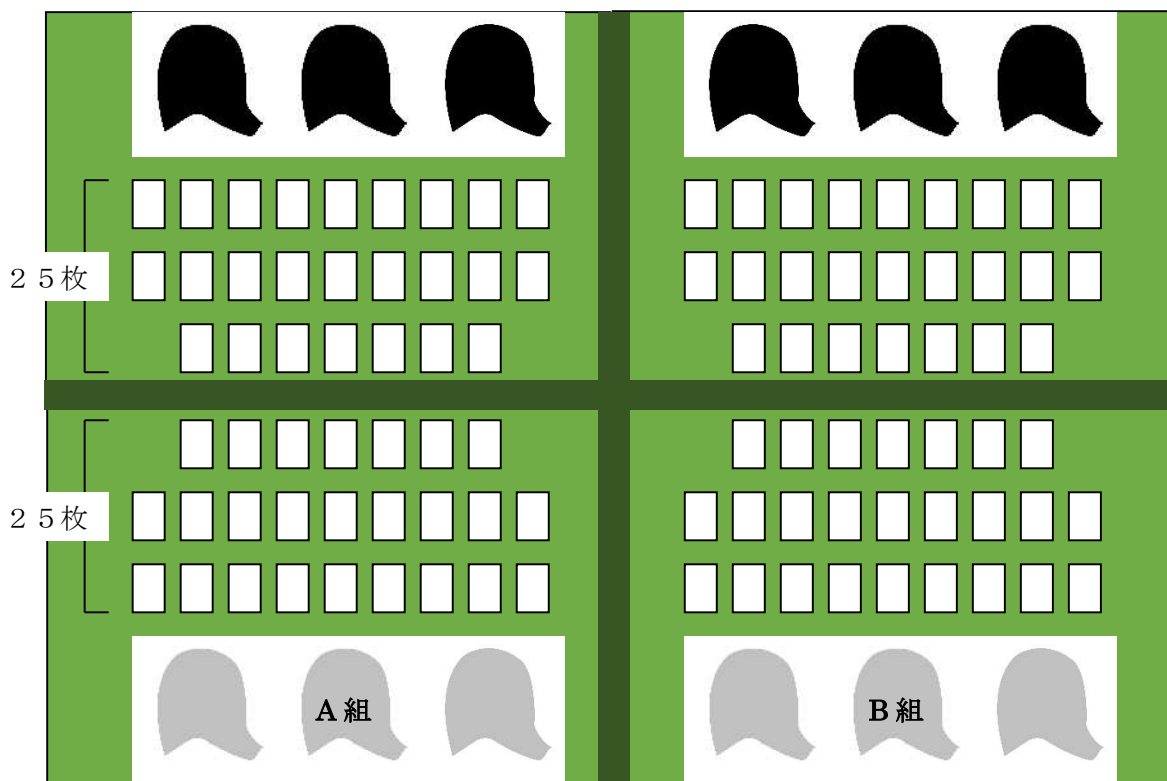
しみんたいかい しょうり てつ たいせつ きょりよく きれい めざ
【市民大会では、勝利に徹することも大切ですが、極力お手つきをしないなど綺麗なかるたを目指しましょう。】

- ・ 6人^{にん}vs6人で「チラシ戦」で戦^{たたか}います。
- ・ 登録人数^{とうろくにんずう}は8名までOKです。
- ・ 札^{ふだ}は100枚^{まい}を2組^{くみ}に分けて50枚^{まい}ずつ使用^{しよう}します。
- ・ 50枚^{まい}を3人^{にん}vs3人で取り合います。
- ・ 予選^{よせん}と決勝戦^{けつしょうせん}を行います。

～お手つきのルールやその他、詳しいルールは共通ルール（4ページから）をご確認ください。～

なら かた
並べ方は
「札の並べ方」を
さんこう
参考にしてください

くろ みやびい、6人^{にん}で1チーム 3人^{にん}ずつに分かれる



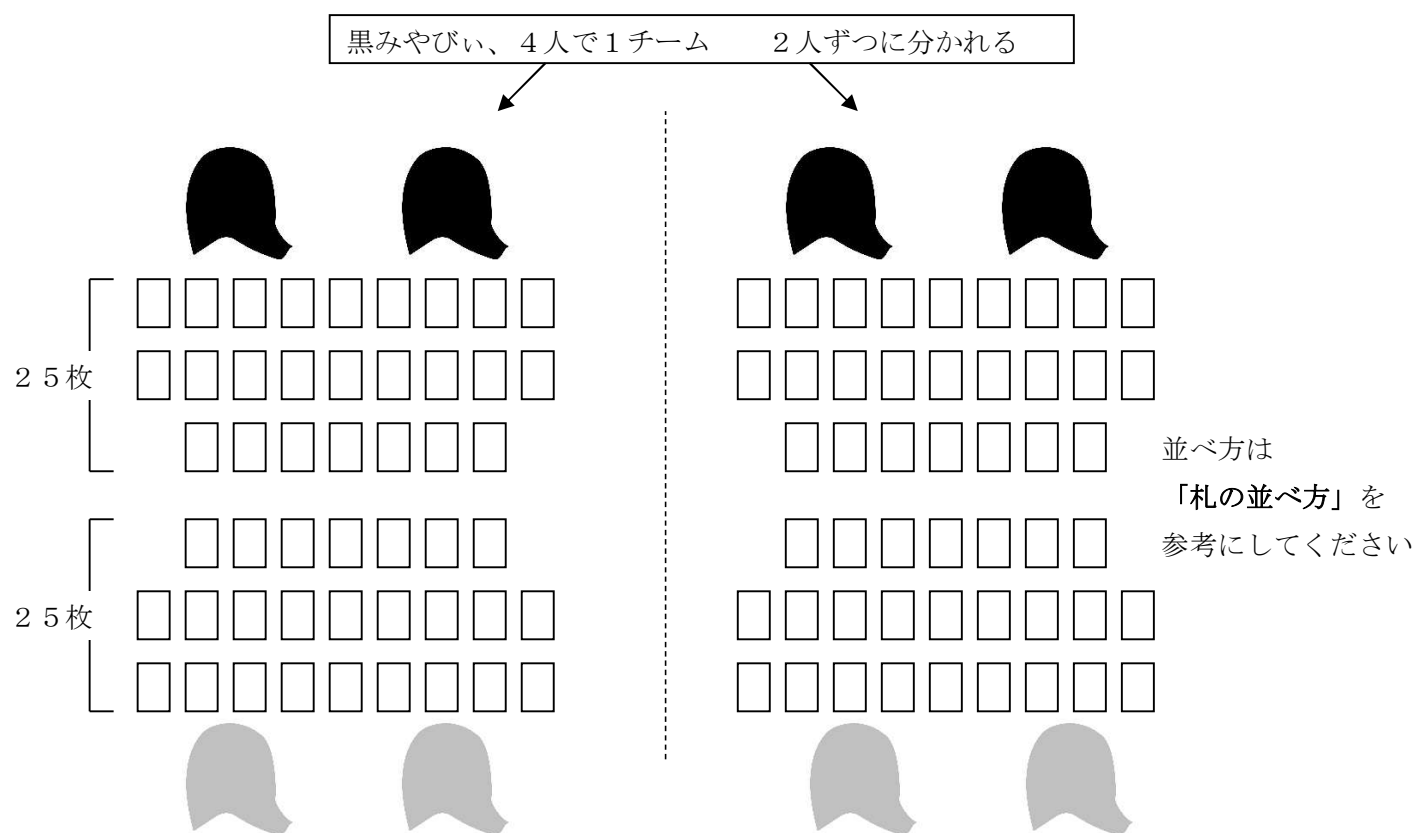
しょうがくせいぶもん
小学生部門は、札^{ふだ}の取りやすさをかんがえ、
たいせんあいて あいだ たたみ じょう
対戦相手との間の畳はなくし、4畳
くみ しあいけいしき
1組の試合形式となります。

- ※ 試合に出場^{しゅつじょう}しない人は、試合会場^{しあいかいじょう}以外で観覧^{かんらん}してください。
- ※ 応援^{おうえん}をするときは、お大声^{おおこえ}を出したり、走り回^{はし まわ}ったり、騒^{さわ}いだりしないで静^{しず}かに観覧^{かんらん}してください。

<中学生部門ルール>

- ・ 4人 vs 4人で「チラシ戦」で戦います。
- ・ 登録人数は6名までOKです。
- ・ 札は100枚を2組に分けて50枚ずつ使用します。
- ・ 50枚を2人 vs 2人で取り合います。
- ・ 予選と決勝戦を行います。

その他、詳しいルールは共通ルール（4ページから）をご確認ください。



※ 試合に出場しない人は、試合会場以外で観覧してください。

※ 応援をするときは、大声を出したり、走り回ったり、騒いだりしないで静かに観覧してください。

<共通ルール>

札の取り方

札をまとめて払って取る、**払い手は禁止**です。

詠まれた札1枚に直接触ってください。

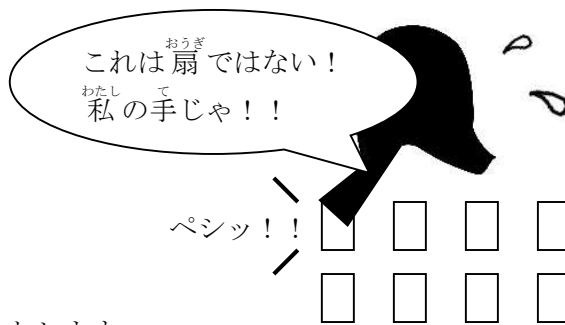
早く札に触った人の取りとなります。

もし、**同時に取ったときは、札に近い方のチームの取り**とします。

話し合っても解決しないときは、**審判**を呼んでください。

でも、お互いに譲り合うのが大切です。

また、札を取るときに使用できる手は片手のみです。競技中に変えることはできません。

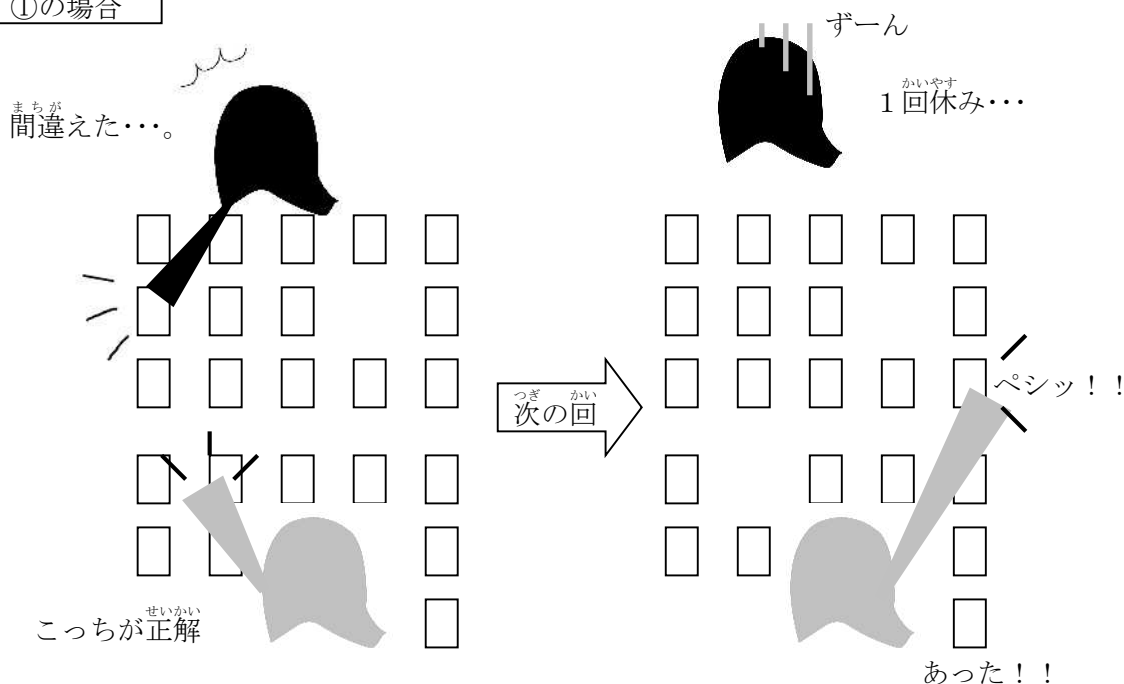


みやびいは扇を使っているけど…
みんなはこんな感じで、
手で取ってね。

お手つきのルール（要確認）

- ① 詠まれた札と違う札を触ってしまったら・・・次回1回お休みになります。
- ② お手つきをした後に正しい札を触った場合、正しい札はその人（お手つきした人）の取りになります。が、次回1回お休みになります。
※お手つきをしたら1回お休みになるだけで、相手から札はもらいません
- ③ 休みの人が札を取った場合は、相手チームの取りとなります。

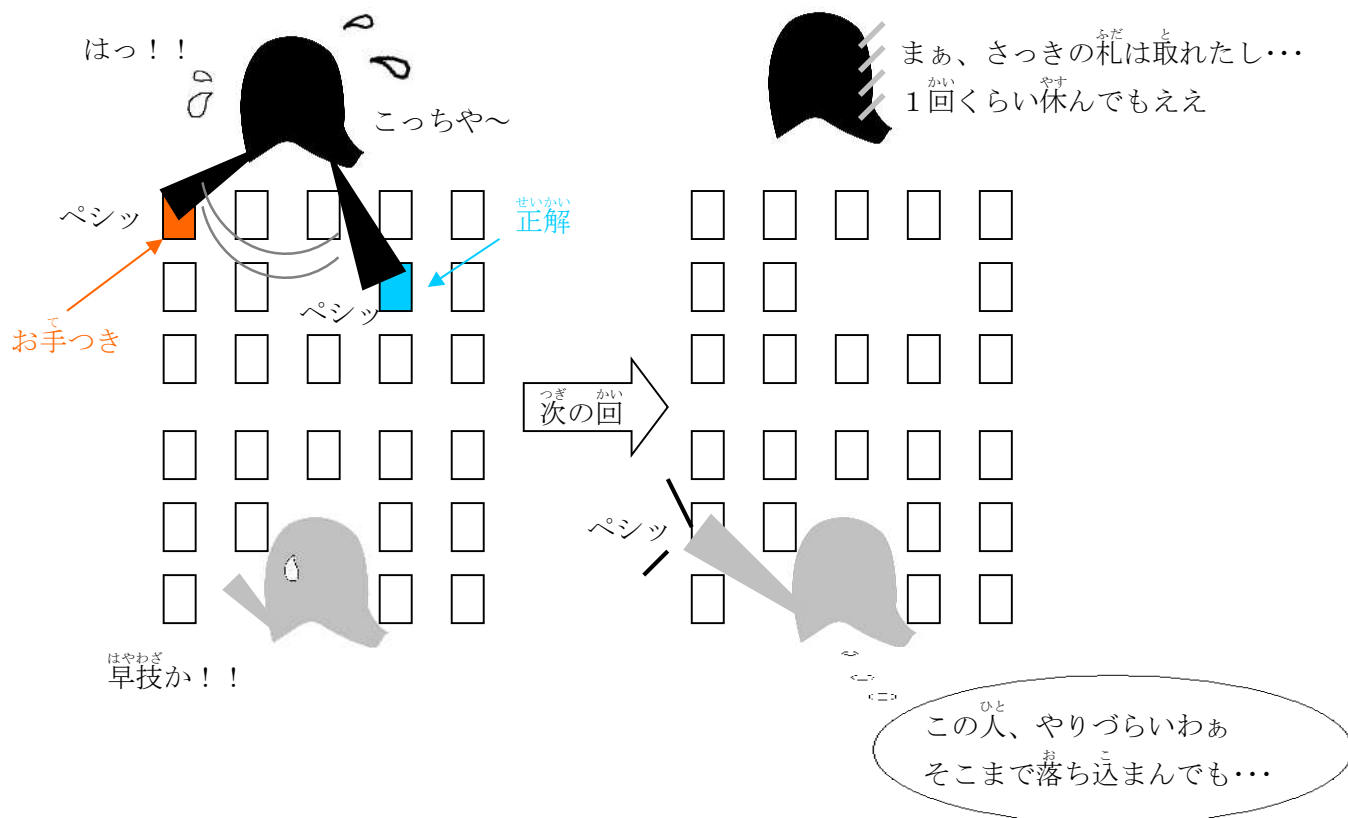
①の場合



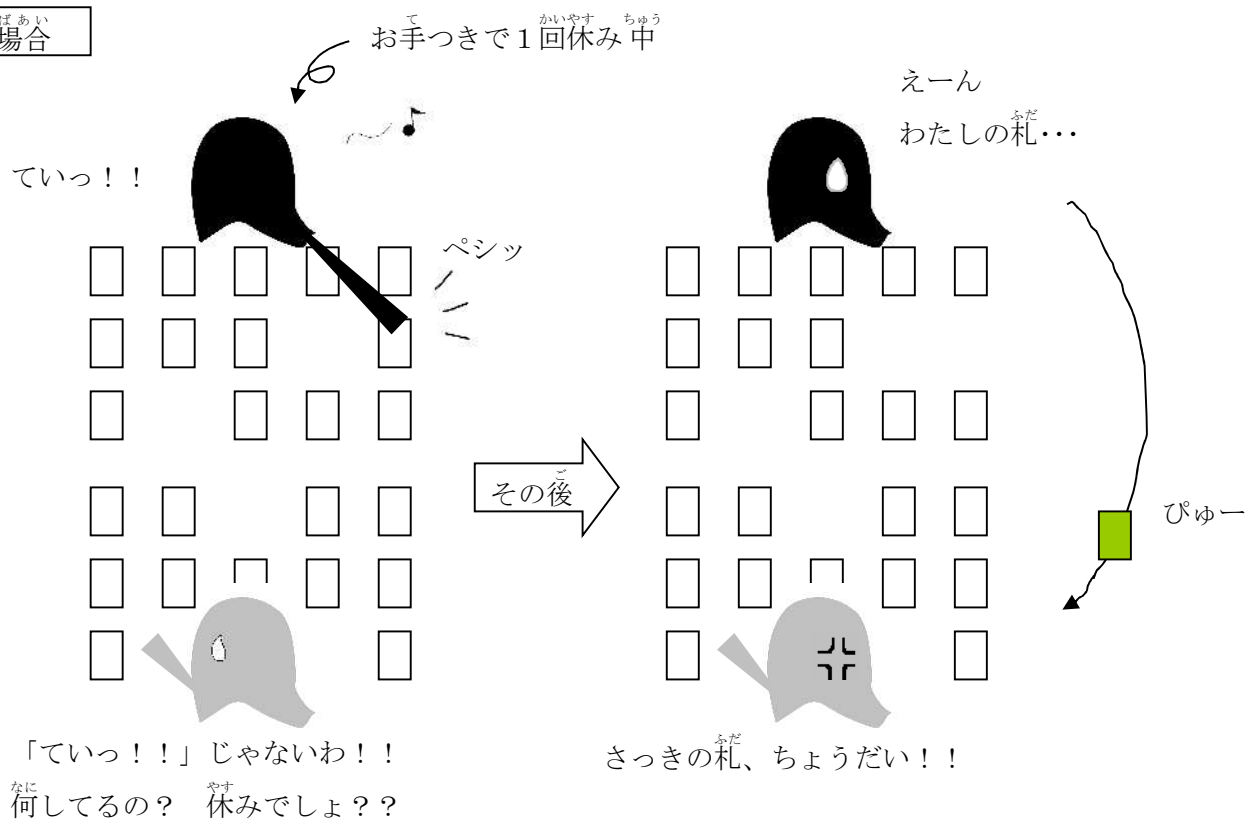
詠まれていない札を間違えて1枚触ってしまったら、次回1回お休みになりますが、もし、詠まれていない札を2枚程度触ってしまったら、休みは次回1回だけです。

ただし、**意図的に2枚以上を次から次へと、手当たり次第に触るのは違反行為**になりますので、注意してください。**何らかの罰則**があります。

②の場合



③の場合

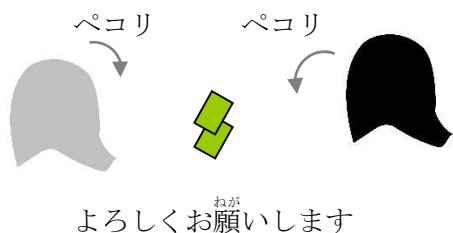


もし、休みなのに間違っ取って札を取ってしまったら、謝りながら、すみやかに相手チームに渡しましょう。

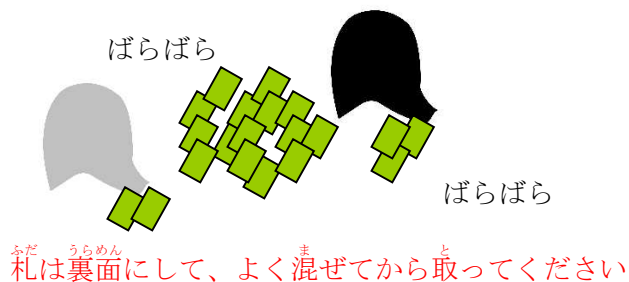
競技の進め方

※ ここでは都合上、簡略化した図を掲載しています

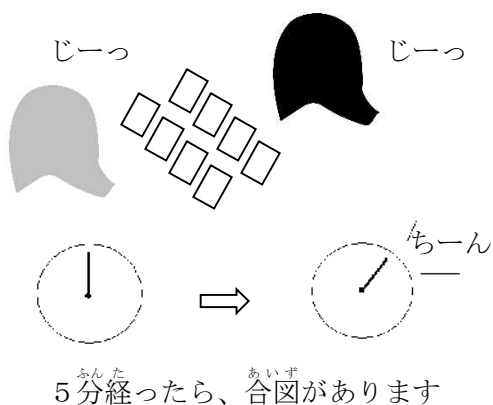
- ① 札を並べる前に、お互いに礼をします



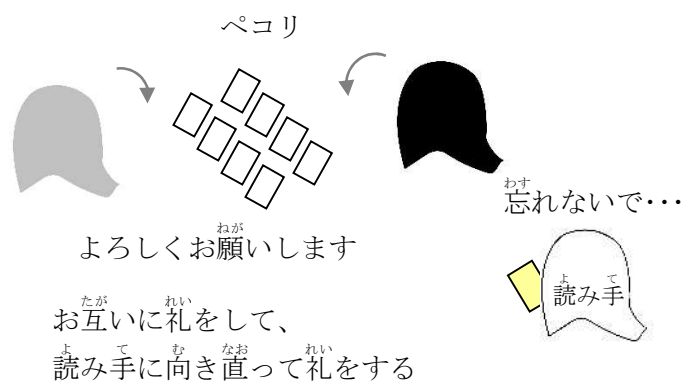
- ② 札を混ぜて、取って並べます



- ③ 暗記をします（並べる時間を含めて5分間です）



- ④ 始めの札をします



- ⑤ 序歌が詠まれます

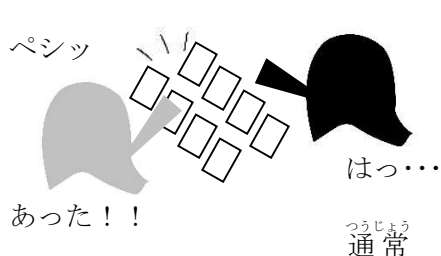
なにわづに～さくやこのはな～
ふゆごもり～
いまをはるべと～さくやこのはな～
いまをはるべと～さくやこのはな～～

- ⑥ 札が詠まれます

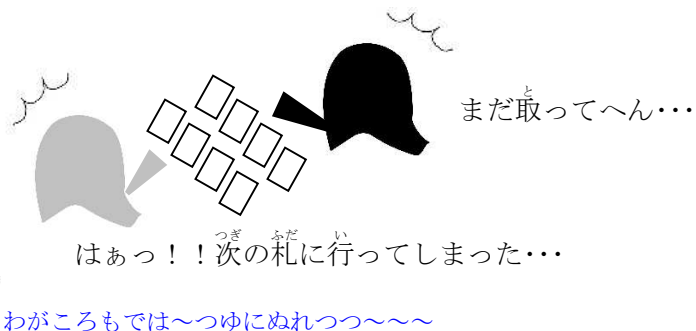
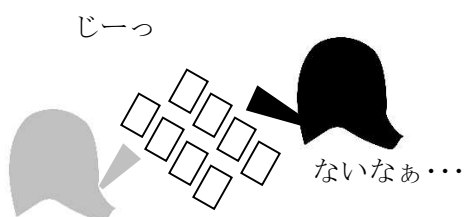
あきのたの～かりほのいほの～とまをあらみ～
わがころもでは～つゆにぬれつつ～

「いまをはるべと～さくやこのはな～～」を詠んだ後に、次の札が上の句から詠まれます。
2首目以降は前の札の下句から詠まれます。

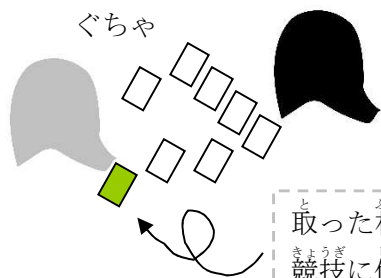
- ⑦ 詠まれた札を探して取ります



札を探し出す前に、次の詠みが始まってしまったら、前の札を見つけたとしても取ることはできません。
見つけたときはそのまま並べておいてください。



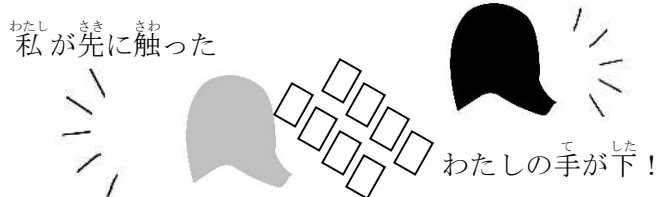
⑧ 並んでいる札が乱れたら、きれいに並べます



札を並べるときは、早く試合が始められるように
全員で協力してならべます

取った札は、出していない札と区別するために裏返しておきます。
競技に使用している手と反対に置くと邪魔になりません。

⑨ どちらのチームが取ったのかが分からないときは、話し合いをしたり、審判を呼んだりします

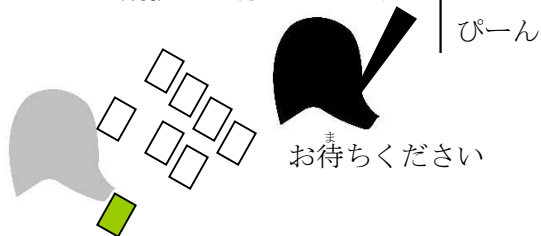


まあまあ。
それぞれの言い分を
言ってごらん。

札をどちらが取ったのか、長い時間もめいていると、その間、競技がストップしてしまいます。自分たちの集中力も途切れてしまいますし、他の選手にも迷惑なので、なるべく、もめないようにしましょう。
かるたは譲り合いが大切です。

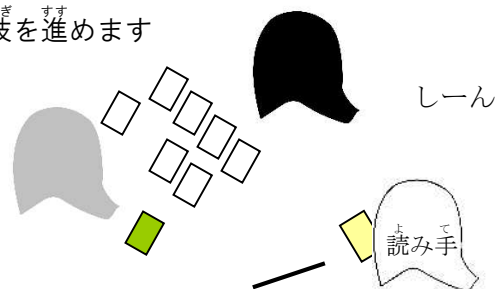
⑩ ⑧、⑨のときは、

手をあげて競技の進行を止めます



手をあげる人は、読み手や審判などに見えるように、
ひじを伸ばして、しっかりあげます。

⑪ すべての対戦場所で手が下がったら、
再び競技を進めます



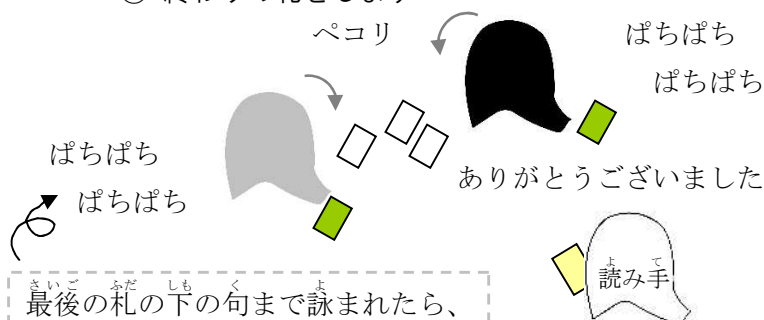
わがころもでは～つゆにぬれつつ～
せをはやみ～いわにせかるる～たきがわの～
われてもすゑに～あはむとぞおもふ～

⑫ ⑥～⑪を繰り返して、81首まで詠まれたら
試合終了です



残り5首になったら合図があります。
100首すべてを詠まないのは、
ケガをすると危ないからです。

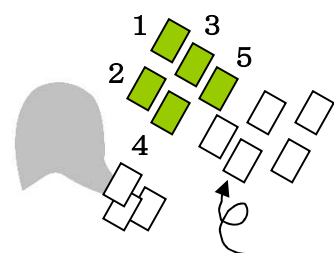
⑬ 終わりの礼をします



最後の札の下で句まで詠まれたら、
観客などは拍手をします

お互いに礼をしたら、読み手にも礼をします

⑭ 取った札の枚数を数えます



次の試合もあるので、全員で協力して札を数えます

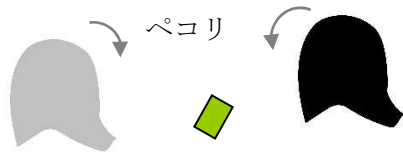
札を数えるときは、10枚の束をつくるようにすると早く数えられます

必ず19枚と取り残し分が残るので、その札は取った枚数に入れないください

※ 札の数が合わない場合

かるたの競技ではよくあることなので、恥ずかしがらずにスタッフに言ってください。札が無いという報告があれば、全員で探します。そのときは選手の皆様にもご協力をお願いします。

⑮ 最後にお互いに札をします



ありがとうございました

⑯ 記録カードを提出します

はい



カード

小学生部門の1コート、黒みやびい対グレーみやびいの記録カードです

記録カードの記入が終わったら、各部門の記録係に提出します

⑰ 休憩

次、どこ？

誰が出る？



決勝行きたいね〜



だらだら

次の対戦の準備が出来るまで、待っていてください

⑱ 次の対戦会場へ移動します

プログラムなどで組合せを確認して、自分の競技場所の番号の貼ってあるコートへ移動してください

このような感じの紙が貼ってあります

予選
小
01

次は1コートや！

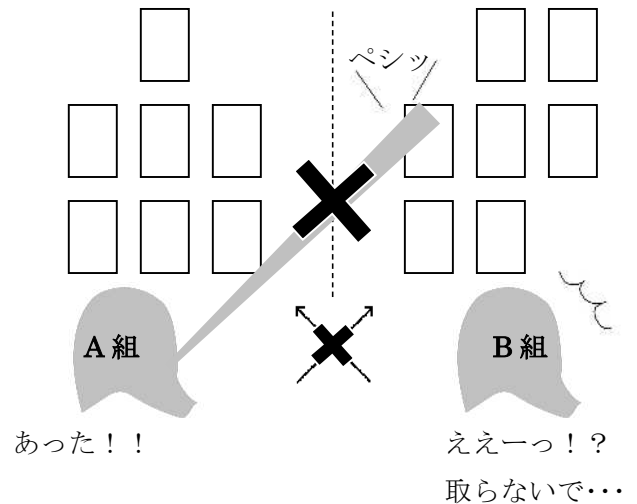
次こそ勝たねば！！

- ・これ以降は、①～⑱の繰り返しになります。
- ・自分の対戦場所に行き、競技進行のアナウンスに従って競技を始めてください。
- ・予選が終了して30分前後で決勝戦への進出チームの発表がありますので、アナウンスをよく聞いてください。その後、決勝戦進出チームによる抽選会を行います。
- ・休憩や昼休みもありますが、試合の進行によっては時間の短縮もあり得ますので、試合開始時間を守るなどのご協力をよろしくお願いします。

禁止事項 一

A組の人は、A組の札だけを取ってください。
同様に B組の人は B組の札だけを取ります。

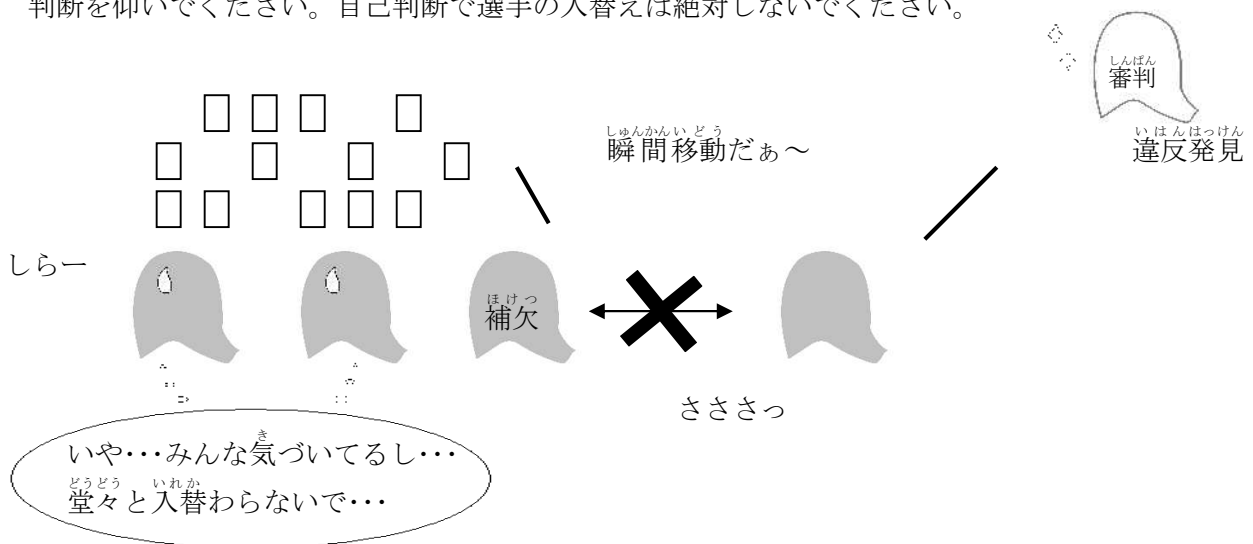
もし、右の図のようなことが起きた場合は、
何かしらの罰則があります。気をつけましょう。



禁止事項 二

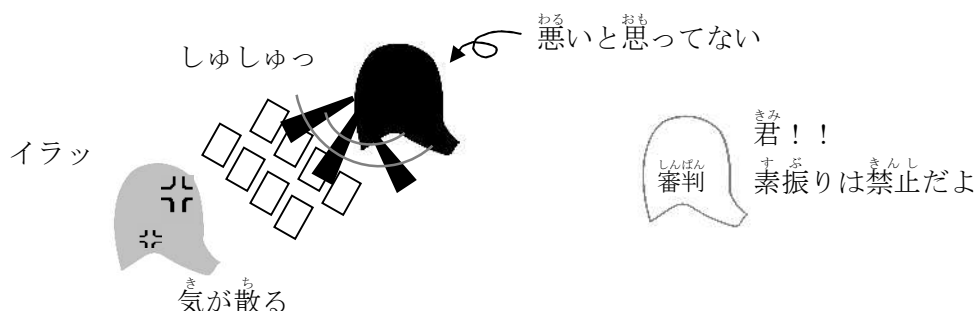
競技中に選手の入替えはできません。
予選1回戦、予選2回戦などの試合ごとの入替えはできます。

ケガをしたり体調が悪くなったりした場合は、近くのスタッフに申し出て、どうすればいいのか
判断を仰いでください。自己判断で選手の入替えは絶対しないでください。



禁止事項 三

暗記時間中の素振りは、暗記をしている相手への妨害行為となりますのでやらないでください。
注意してもやめない場合は、何らかの罰則がありますので、気をつけてください。

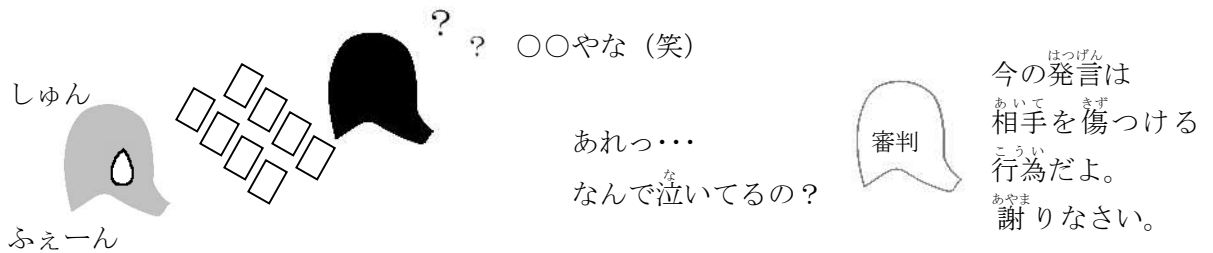


禁止事項 四

試合中に、相手を中傷・威嚇するような発言・行動はしないでください。

中傷・威嚇するような発言・行動とは…自分がやられて嫌だ・不快だと感じる発言や行動のことです。

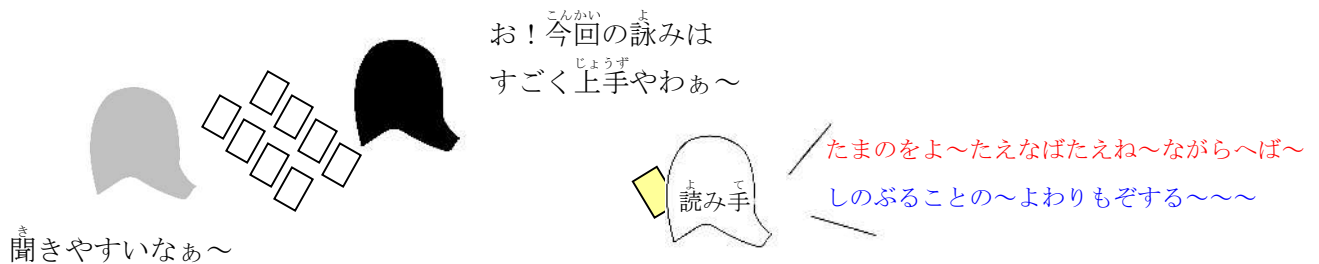
注意してもやめない場合は、何らかの罰則があります。



禁止事項 五

読み手の読みの癖や音の不明瞭さ、読み間違いについてのクレームなどは、受け付けません。

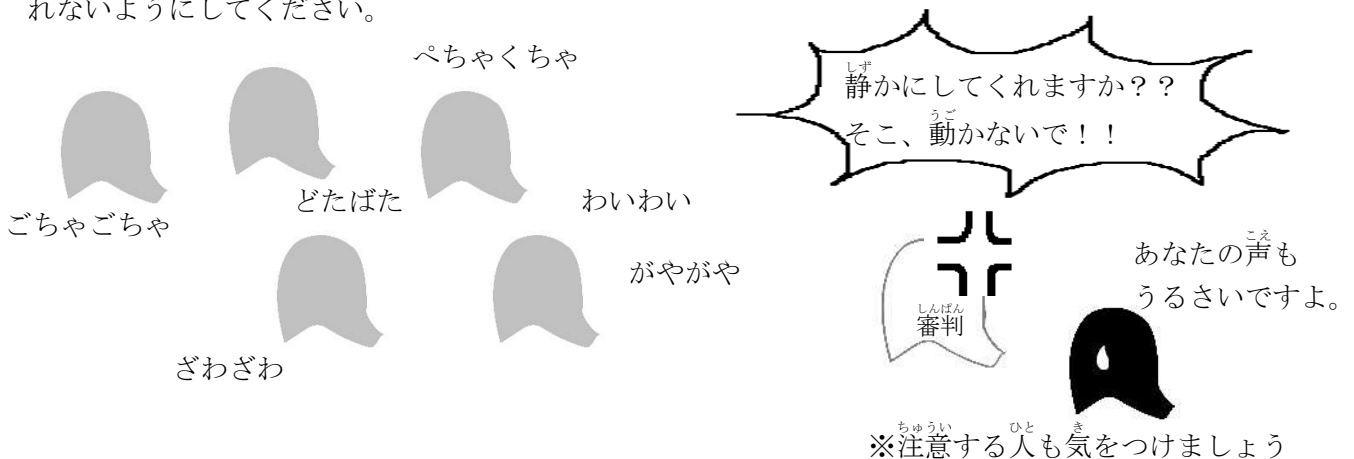
現在、読み手を確保することが難しくなっており、競技かるた未経験の方に読み手をお願いしていることを理解してください。「自分たちのために読み手を務めていただいている」という感謝の気持ちを持って競技をしましょう。



禁止事項 六

観戦するときは、静かにしてください。

かるたは音が命です。読み手が詠み始めたら、物音を立てないように注意してください。話しをすることはもちろんですが、歩く・動くなども厳禁ですので、詠みが始まったら動きを止めてください。早めに競技が終わった場合も、静かに観戦してください。選手の方も例外ではありませんので注意されないようにしてください。



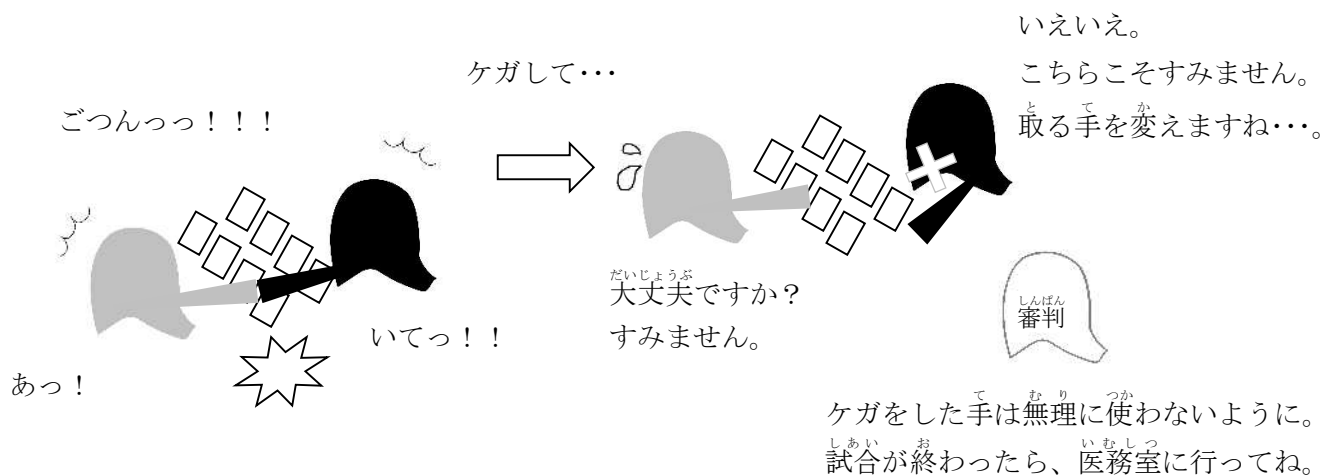
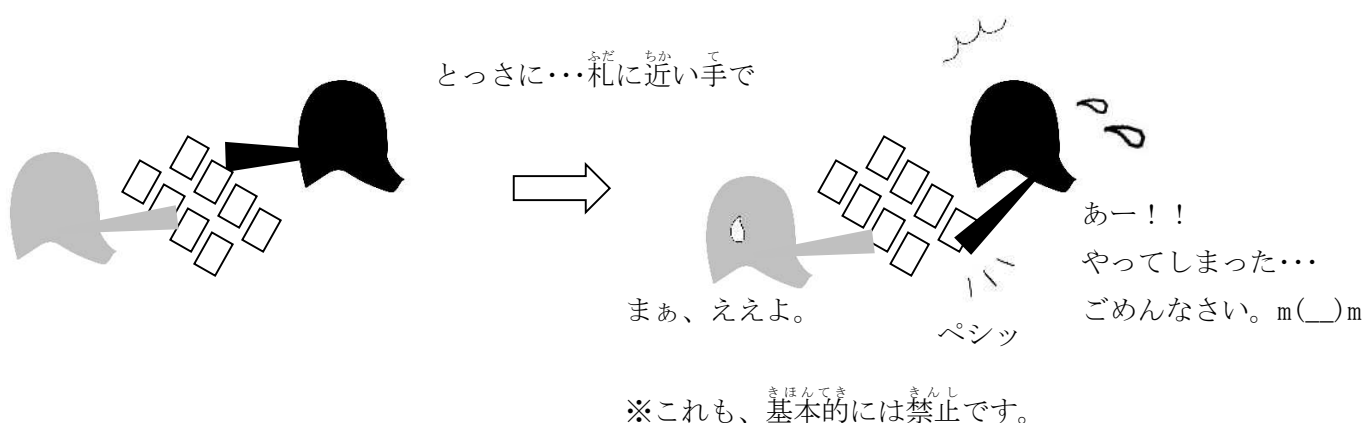
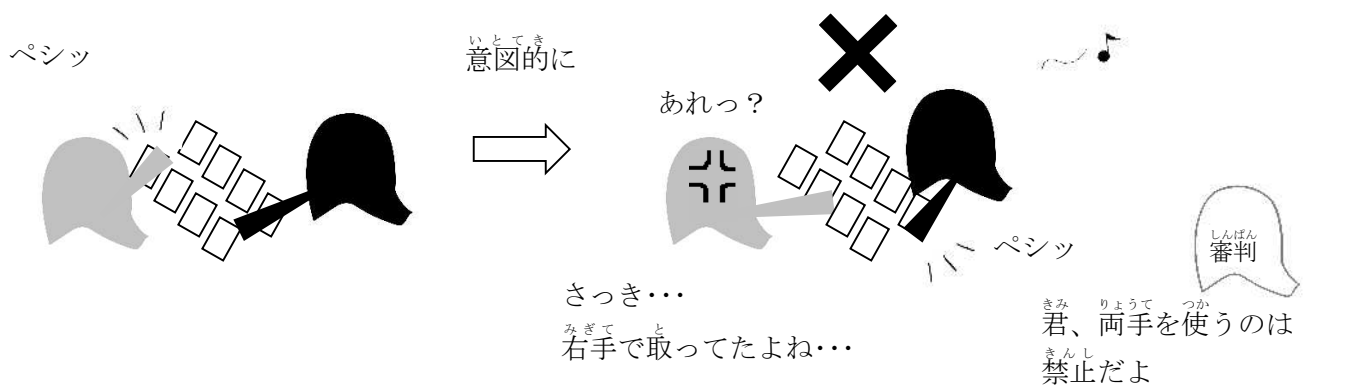
※注意する人も気をつけましょう

禁止事項 七

競技に使用できる手について

競技中、札を取るときに使用できる手は片方の手だけです。右手で取っていたのに、途中で左手に変えることはできません。もし、右手で取っていた人が左手で札を取ったときは、何らかの罰則があるものと考えてください。

※ただし、競技中に手がぶつかり、つき指などケガをした場合は、すみやかに審判やスタッフに申し出てください。その場合に限り、使用する手の変更を認める場合があります。



きょうつうじこう
共通事項 一

予選は2試合行います。

決勝戦へは参加チーム数の3分の1が進出します。ただし、参加チームが24チーム以下の場合は、2分の1が決勝戦へ進出します。また、決勝戦進出チーム数が奇数の場合は、1チーム増やして偶数に調整します。

表彰は、決勝戦に進んだチーム数の2分の1を表彰します。ただし、上限は8チームとします。

24チーム以上の場合

例 50チーム

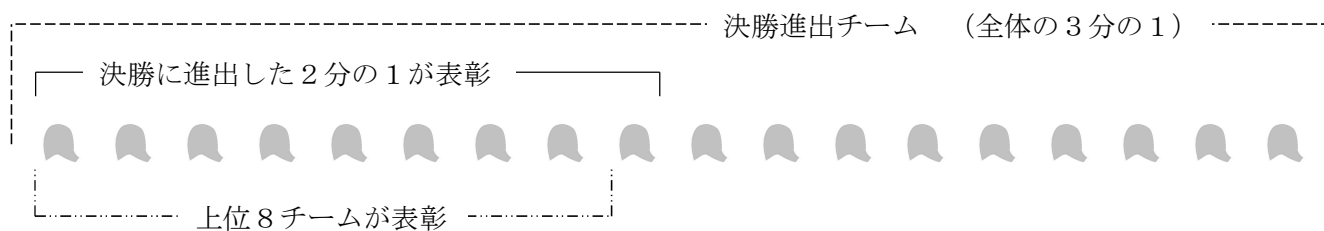
50チームの3分の1チームが決勝戦に進出します。

$50 \div 3 = 16.666\cdots$ なので、四捨五入して17チームとします。
奇数なので+1して18チーム。

決勝戦に進出した18チームのうち、2分の1が表彰となります。

$$18 \div 2 = 9$$

表彰できる上限数が8チームのため、上位8チームが表彰となります。



24チーム以下の場合

例 24チーム

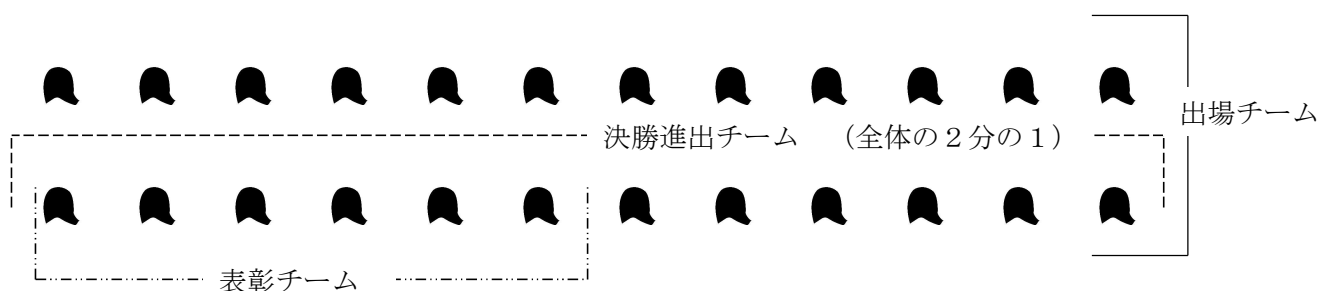
24チームの2分の1チームが決勝戦に進出します。

$24 \div 2 = 12$ なので、12チームとします。

決勝戦に進出した12チームのうち、2分の1が表彰となります。

$$12 \div 2 = 6$$

よって、上位6チームが表彰となります。



共通事項 二

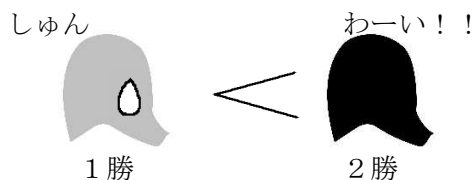
決勝戦に進出するチームについて

① 勝数の多いチーム

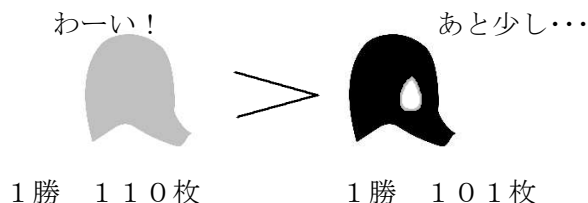
② 予選2試合で取った札の合計枚数が多いチーム

※ただし、①②の両方で同数の場合は、チームの主将選手によるジャンケン3回勝負で決定します。

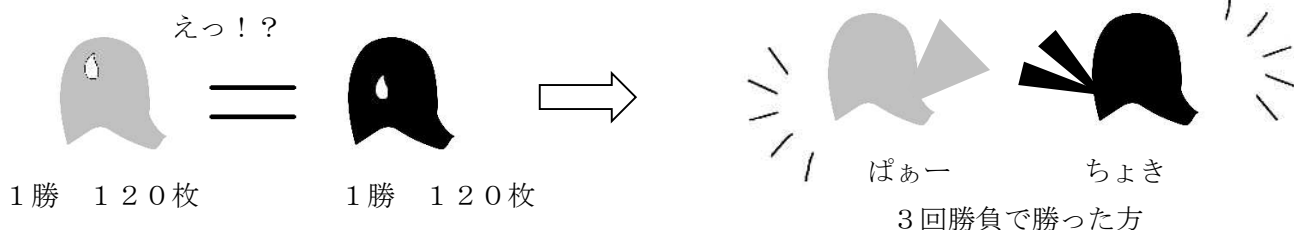
① 勝数で見ると・・・



② 勝数+枚数で見ると・・・



勝数+枚数が同じ!!



共通事項 三

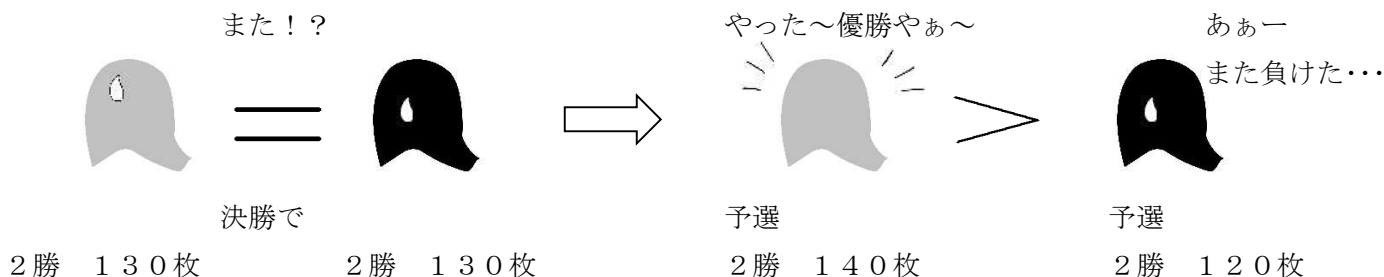
部門別の総合順位について

「共通事項 二」と同様の方法で決定します。

※ただし、合計枚数が同じ枚数の場合は、予選の成績を考慮します。ジャンケンはしません。

勝数+枚数が同じ!!

予選の結果から見ると・・・



きょうつうじこう
共通事項 四

ふせんしょう
不戦勝について

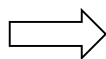
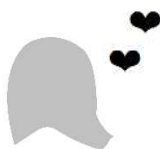
不戦勝とは・・・戦わなくても、その試合が勝ちとなることです。

不戦勝の場合、試合を行っていないので、その試合分の取り札は0となってしまうそうですが、残りの予選試合で取った札の倍^{ばい}を合計枚数とします。

不戦勝のため、1 試合お休み。

次の試合で・・・

ラッキー！！



どき
どき



何枚だろう。

60枚取って、その倍なので

$$60 \times 2 = 120$$

よって、

合計枚数は 120枚

ちなみに

2勝 120枚 という結果。

共通事項 五

くみあわ けっしょうせん ちゅうせん
組合せ・決勝戦の抽選について

- ・予選1回戦の組合せは、あらかじめ役員会議などで抽選を行って決定します。
 - ・予選2回戦の組合せは、予選1回戦の勝敗を考慮して、団体戦記録部^{だんたいせんきろくぶ}により決定します。
 - ・決勝戦の組合せは、予選終了後に主将選手^{しゅしやうせんしゅ}による抽選で決定します。
- ※ただし、当日欠場のチームがあった場合は、組合せが変更することもありますのでご了承ください^{りやうしょう}。

予選1回戦

かいぎちゅう
会議中

おお～
いいカードだ

小学生1コート

〇〇チーム対□□チーム



もう少し
ゆっくり言ってよ・・・
書けない・・・

予選2回戦

きやうぎちゅう
協議中

こことここが
同じくらいだから・・・

ごによ



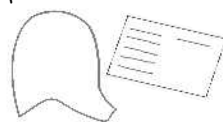
ごによ

決勝戦

こんな感じの箱から
こんな感じのくじを
引いてね。

はい

次、
□チームです



小学生部門
01

〇〇チーム
1コートです



わらわの
番じゃ



きょうつうじこう
共通事項 六

きろく
記録カードについて

- ・ 予選1回戦の記録カードには、学校名や相手チーム名などがあらかじめ記入されていますので、両チームの取った札の枚数を記入してください。
- ・ 予選2回戦の記録カードは、自分たちのチーム名と学校名は記入されていますが、他は記入されていないので、相手チーム名・試合場所・取った札の枚数などを記入してください。
- ・ 決勝戦の記録カードは何も記入されていないので、自分たちのチーム名・試合場所・相手チーム名・取った札の枚数など、すべてを記入してください。
- ・ 記録カードはチームの代表者が記入し、相手チームの代表者と一緒に、記録席に提出してください。

予選1回戦

ここでは、小学生部門の記録カードを例として載せています。
中学生・ファミリー・ファミリー初級部門の記録カードも同じような作りとなっています。

予選1回戦は、ココまで記入済みです

NO.1 第17回うつのみや一人一首市民大会
小学生部 記録カード

チェック欄

チーム名	クロミヤビィ
学 校 名	黒みやびい
しあいばしょ 試合場所	みやびい小学校
あいて 相手チーム	小 01
あいて 相手チーム	グレーみやびい
じぶんたち 自分達のチーム札数	枚
あいて 相手チームの札数	枚

しあい お のこ かく きにゆう
*試合が終わったら、そのまま残り、各チームのキャプテンがカードを記入し、
かかりいん く ま
係員が来るのを待っていてください。

しあい お かく か いろ ま
*試合が終わったら、各チームのキャプテンは、勝ったチームは（青）色、負けた
チームは（赤）色のカードを引いてください。（次の対戦場所と相手が決まります。）

ココを必ず記入してください

記入の仕方 →

取った札の数を
記入します

じぶんたち 自分達のチーム札数	4 6	枚
あいて 相手チームの札数	3 5	枚

予選 2 回戦

ココまでは記入済みです

NO.1 第17回うつのみや百人一首市民大会

小学生部門 記録カード

チェック欄

【予選 2 回戦】

チーム名	クロミヤビィ 黒みやびい
学 校 名	みやびい小学校
しあいばしょ 試合場所	小
あいて 相手チーム	
じぶんたち 自分達のチーム札数	枚
あいて 相手チームの札数	枚

しあい お のこ だいひょうしゃ きにゆう
*試合が終わったら、そのまま残り、各チームの代表者がカードを記入し、
かかりいん く ま 係員が来るのを待っててください。

ココをすべて記入してください

決勝戦

第17回うつのみや百人一首市民大会

小学生部門 記録カード

チェック欄

【決勝 1 回戦】

チーム名	
学 校 名	
しあいばしょ 試合場所	小
あいて 相手チーム	
じぶんたち 自分達のチーム札数	枚
あいて 相手チームの札数	枚

しあい お のこ だいひょうしゃ きにゆう
*試合が終わったら、そのまま残り、チームの代表者がカードを記入し、
かかりいん く ま 係員が来るのを待っててください。